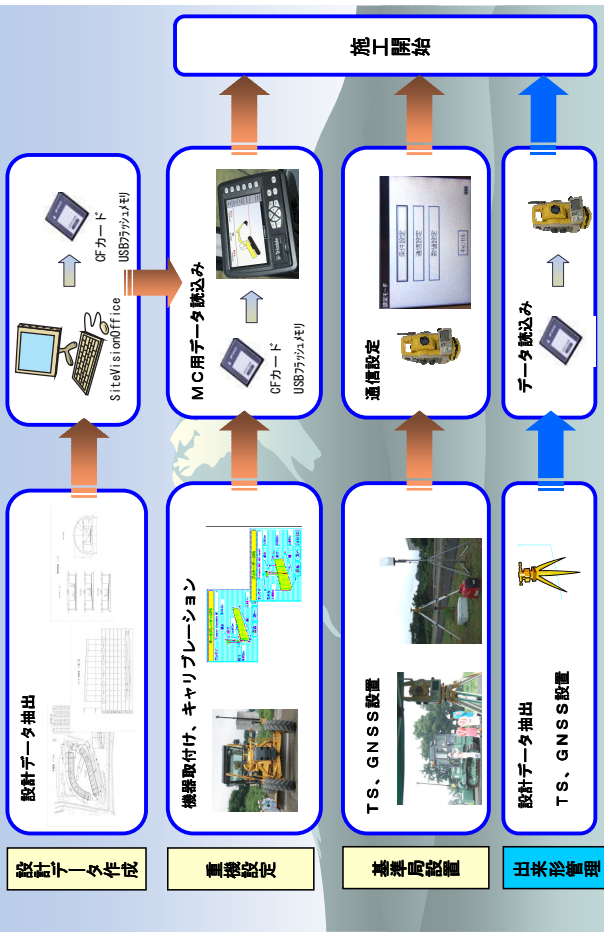


2009.11.11 講演会「実務者に聞く情報化施工の実際」

人材育成のための「情報化施工研修会」

社団法人日本建設機械化協会
 施工技術総合研究所 上石修二

1. MCで必要となる作業

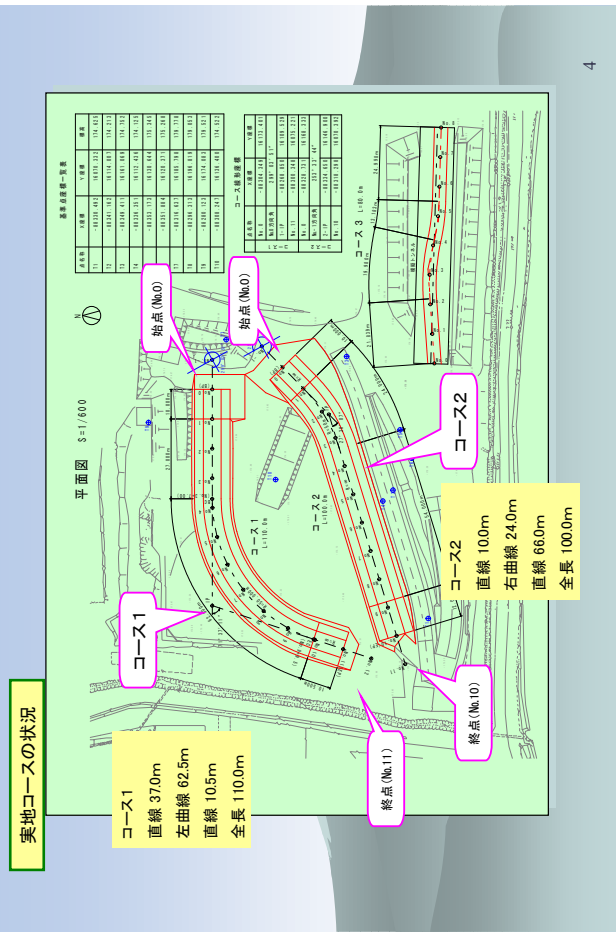


1) 設計データ作成作業



◆ 実地研修コースの概要

1. コースの種類と平面線形概要

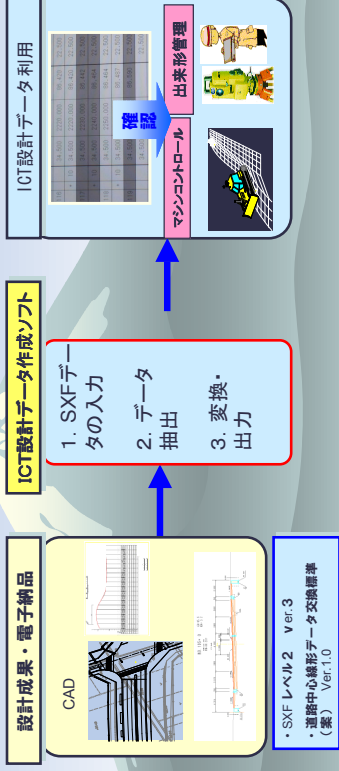


「ICT設計データ作成ソフト」

研究概要

平成20年度建設技術研究開発助成制度
「図面データを直接利用したICT監督業務支援ツールの開発」

- ◆ 設計段階から施工段階までを電子化された設計情報により結びつけるため、図面データを、現場測量や機械施工で活用できるデータ(以下、ICT設計データと記す)に変換するソフトウェアを開発する(H20)



- ・SXFレベル2 Ver.3
- ・道路中心線形データ交換標準(案) Ver.1.0

ダウンロード

<http://www.cmi.or.jp/>

2) 重機設定実地研修

建機新規導入(H21.5月~)



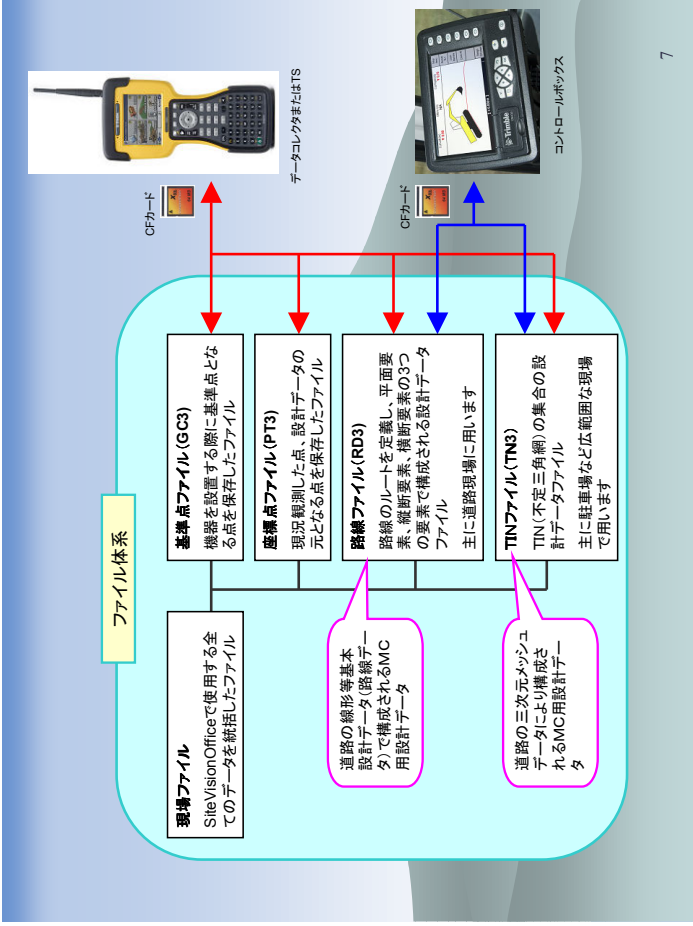
グレーダ (GD655PX)

運転質量:16.5t
フレード:3,710mm



ブルドーザ (D31PX)

機械質量:8.5t
幅:2,875mm

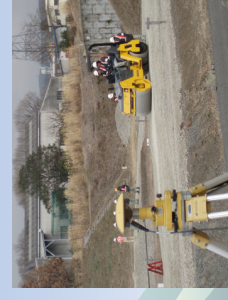


3) 基地局 (TS, GNSS) 設置実地研修



(講義内容)

- ・システム説明
- ・基地局の設定



4) 出来形管理実地研修



(講義内容)

- ・システム概要
- ・操作説明(概要)



(講義内容)

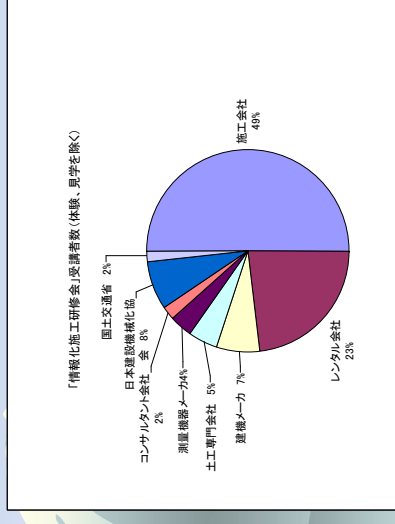
- ・事前準備
- ・施工計画
- ・施工管理/監督検査

2. 情報化施工研修会の実績 (H20. 7-H21. 10)

[実務コース]: 2日間

「情報化施工研修会」受講者数(第1回~12回)

種別	受講者数
施工会社	95
レンタル会社	44
建機メーカー	13
土工専門会社	9
測量機器メーカー	7
コンサルタント会社	4
日本建設機械化協会	15
国土交通省	3
(計)	190
講師	30



開催実績と予定

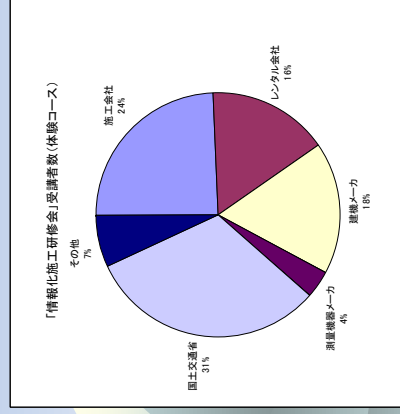
年度/回数	種別	備考	
H20	第1回	研修会	
	第2回	研修会	
	第3回	企業研修	
	第4回	研修会	
	第5回	研修会	ローラ追加
	第6回	研修会	MG
	第7回	研修会	グレーダ、ブルドーザ
	第8回	企業研修	
	第9回	企業研修	
	第10回	研修会	
	第11回	研修会	
	第12回	研修会	
H21	第13回	発注者研修会	国交省向け、11/17
	第14回	企業研修	11/19,20
	第15回	研修会	11/26,27
	第16回	研修会	1/28,29
	第17回	研修会	2/25,26



[体験コース]: 1日間

「情報化施工研修会」受講者数(第1回~12回)

種別	受講者数
施工会社	14
レンタル会社	9
建機メーカー	10
土工専門会社	0
測量機器メーカー	2
コンサルタント会社	0
日本建設機械化協会	0
国土交通省	18
その他	4
(計)	57



3. 研修会受講者の意見

講義内容

- ・ 基地局の設置を自分で実際にできたらよかった。
- ・ マシンコントロール実習が不足ではないが、特にグラデータでじっくり作業をしたい。
- ・ 機器の取付方法等追加希望したい。

分からなかったこと？

- ・ 3D-MCの設計データで、路線データとTINデータと存在する理由、条件について理解しづらい。
- ・ “実際に現場で施工するにあたって、気をつける点等。トラブルシューティング的なこと”を説明してほしい。
- ・ データ作成がうまくいかなかったが、手順等は理解できた。

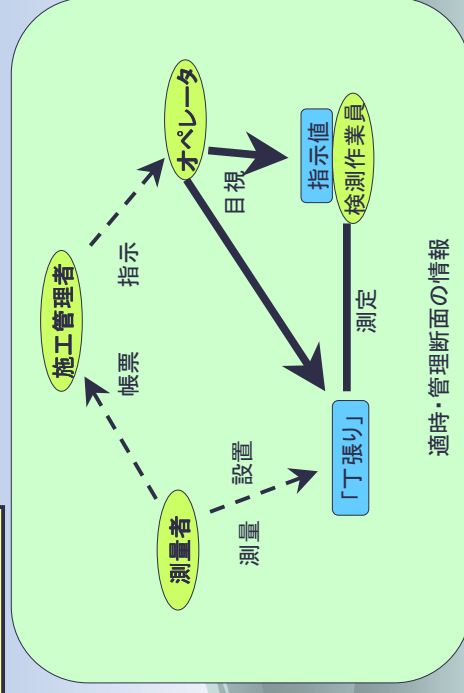
良かった点

- ・ MC用データ作成について一連での操作が役立った。
- ・ TS、GPSの概要、MCデータ入力、CADについての知識を分かり易く説明して頂いたので、次に私が説明する立場になったときに非常に役立つ内容だった。
- ・ 情報化施工の全体の流れがつかめて勉強になった。
- ・ 営業なのですが、お客様との話にて、一歩前に進んだ会話ができると感じました。

1. 情報化で現場はこう変わる

従来の情報伝達

Man to Man



適時・管理断面的の情報

ご静聴ありがとうございました。

MCでの情報伝達

Machine to Machine

